☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１９

丹波新聞　令和元年７月１８日（木）

月１回「放課後カフェ」

氷上西高まちづくり部

高校生が居場所づくり

佐治の空き店舗借り

来店した氷上西高生にカップケーキを提供する同校まちづくり部のメンバー＝青垣町佐治で

氷上西高校の「まちづくり部」（山根都美部長、11人）が12日、生徒の放課後の居場所にと、学校近くにある青垣町佐治の空き店舗で「放課後カフェ」を初めて開いた。同部員が企画・運営するもので、メニューも部員が考案し、自分たちでこしらえたカップケーキなどを全品100円で提供。今後も毎月1回、定期的に開催する計画で、地域住民も気軽に立ち寄れる居場所にする。（田畑知也）

同部は市内のイベントに出店したり、運営を手伝う活動などに取り組む。今年度の活動内容を話し合う中で、放課後に高校生が集まって語り合える場所を設けようと検討。カフェスタイルにすることで気軽さを演出できると考え、空き家活用などに取り組む関西大学佐治スタジオ室長の植地惇さん（28）に開催場所を相談。物件を紹介してもらった。

初回は、地元の空き家活用サークル「佐治倶楽部」が管理する「本町の家」で開催した。囲炉裏付きの長机がある落ち着いた雰囲気の店内で、さっそくテスト終わりの同校生15人ほどが来店。紅茶やジュースに加え、3種のカップケーキのほか、コーヒーはミルで豆を挽く本格的な一味を提供した。

来店した高校生は備え付けられた本を読んだり、スマートフォンのゲームに興じたり、友人と談笑するなど和気あいあいと過ごしていた。来店した谷川竜輝君（3年）は、「良い雰囲気。気軽に入れるし、また来てみたい」と話した。

カップケーキを作った同部の足立佳生さん（同）と足立花音さん（同）は、「氷上西高生は放課後、住民センターか川しか行くところがないんです」と苦笑い。「予想以上の来店があって驚いた。メニューを増やしたり、いろんなことにも挑戦するので、地域の人にも来てほしい」と話した。

同部顧問の神崎悠哉教諭（35）は、「高校生には、自分たちで計画したものを形にしていく楽しさを味わってほしい」と話していた。

次回は8月19日午後1時半から、佐治の「衣川會館」で開催する。9月以降は、「本町の家」「衣川會館」「関西大学佐治スタジオ」のいずれかで開催する。随時、同校ホームページで情報発信する。